


## NO.145 肺炎の治療を受ける患者・家族の方へ

ID: @PATIENTID

氏名: @PATIENTNAME

		入院日	2日目～3日目	退院前日(4日目)	退院予定日(5日目)
		月 日 ( )	月 日( )～ 月 日( )	月 日 ( )	月 日 ( )
<b>検査</b>		身長・体重を測定します。 処置室にて採血・採尿をします。 体温・呼吸・脈拍・血圧測定を行います。 お熱が高い場合は、氷枕で冷やします。看護師が適宜交換します。 酸素飽和度(SPO2)をモニターするための機械をつけます。	朝6時頃、10時頃、14時頃、19時頃に検温します。 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">採血前に、ミルクや食事を摂取すると、検査項目によって値が正確で無くなり、採血時に嘔吐してしまう可能性があるため、朝の7時半以降は飲んだり食べたりしないようにお願いします。</div>	採血があります。朝8時頃処置室で行います。 医師が病室に伺います。  1階放射線科で胸部レントゲンを撮影します。 (医師の判断で撮影を退院後に延期する場合があります。)	
<b>治療・処置</b>	<b>点滴</b>	水分補給と抗生剤投与のため点滴が始まります。 抗菌薬を投与します。(入院当日は1～2回します)	抗菌薬は2日目から1日3回、6時・14時・22時に投与します。 食事・水分が充分とることができれば、水分補充は終了し、点滴は手元でロックします。	抗菌薬は1～2回投与します。  それ以降は採血の結果次第で内服に変わります。	
	<b>理学療法</b>	吸入で気管を広げ、タッピングで痰を出しやすくします。 小さなお子さんは、チューブで痰を引きます。 必要時、酸素をマスク・チューブで投与します。 (詳細別紙参照)	吸入による肺理学療法を継続します。		
	<b>内服</b>	咳、鼻水、痰を軽減させる為のお薬を飲みます。 お薬は看護師がその都度お持ちします。 スポイトや薬杯を使用し内服してください。		点滴からの抗菌薬が終了したら、内服の抗菌薬に切り替わります。	
<b>基本的活動</b>	<b>栄養</b>	食事の制限はありません。年齢に合わせた食事ができます。 ミルクの場合、こちらで管理していますので哺乳時お声をかけてください。			
	<b>活動</b>	ベッド上での安静となります。 入院中は(検査時など以外)感染予防のため病棟から出ることは出来ません。	プレイルームで遊べるかどうかは、熱や咳の状態をみて医師が判断します。		
	<b>清潔</b>	病棟から点滴衣をお貸し、その服に着替えます。	発熱が続いている間は温かいタオルで身体を拭きます。 熱が下がったら、シャワーに入れます。洋服・シャンプー・石けん・タオルをご用意ください。		
<b>ご家族への説明・指導</b>	医師が症状や検査・治療内容について説明します。 看護師が入院生活について説明を行い病棟案内します。  入院時にお渡しする「入院時のしおり」「小児科ご入院の患者様へ」をご参照ください		看護師が検査の説明をします。	医師が検査の結果や症状、退院、次回外来について説明します。	看護師が退院後の内服薬をお渡しします。  医師の診察後、退院の手続きの説明を看護師がいたしますので、スタッフステーションにお越し下さい。

状態に応じて予定は変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、医師・看護師にお尋ねください。

ベッド柵は転落予防のため必ず上段まで上げてください。※家族が付き添っている際に、ベッド柵を下げたまま離れて転落する事故が多いです。後を向くだけでも、必ずベッド柵を上げるようにお願いします。

付き添いベッドを使用しているご家族の方は、日中は避難経路確保のためたたんでいただくようお願いします。

